



# ReLive Journal



## “りらいぶ” ジャーナル No.20

平成28年 陽春号

(4月20日発行)

### < “りらいぶ” 憲章 >

- 組織、肩書き、経歴にとらわれない自由な生き方
- 知識、経験、技術を生かして社会に貢献する生き方
- 初心に帰って新しい自分を発見する生き方

私たちNPO法人リタイアメント情報センターはこのような生き方を“りらいぶ”と呼び、その生き方をサポートします

### <目次>

1. 高原リゾート ダラット（ベトナム）を再び訪ねて (会員 渡嶋 八洲夫)
2. 新宮 晋先生 新春特別講演会「自然からのメッセージ」に寄せて  
Seeing is believing. (百聞は一見に如かず) (西澤 信善)
3. 2015年11月25-26日オムコイバーンクンメートウン小学校  
Wプロジェクト 図書館・保健室寄贈途中経過視察 (会員 三原 健三)
4. 株式投資「成功への道」(柏原幾松氏の講演)をお聞きして (木津谷 文吾)
5. エッセイ・自分たち探し「ほのぼのマイタウンより」 (フリージャーナリスト 國米 家巳三)  
多層構造の心情をもつ日本人は世界でも少数派
6. “りらいぶ” サロンのご案内「日本語教師でトクする話」 (“りらいぶ” 塾 塾長 鈴木 信之)
7. りらいぶ講演会「みんなで考える日本の未来」一介護の視点から- (会員 伊丹 淳一)
8. 関西支部からのお知らせ (関西支部長 阿賀 敏雄)
9. 東京地区・イベントのお知らせ (事務局)



## 1. 高原リゾート ダラット(ベトナム)を再び訪ねて

(会員 渡嶋 ハ洲夫)

### (楽しいロングステイを過ごすための調査)

2016年1月下旬4年ぶりにダラットを訪ねた。2012年2月冬のロングステイ候補地として下調べをしてあったが、多数の友人からの希望がよせられ再度訪ねることとした。

フランス植民地時代 1920年フランス人によって高原リゾートとしてスファンフーン湖を中心開発がなされた。幸いベトナム戦争でも戦火を免れたため当時の別荘、家屋、ホテルはそのまま残っている。最後の皇帝バオダイもこの地を愛し、夏の別荘としてすごした。現在はダラット・パレスホテルはバオダイの別荘を改装、高級ホテルとして生まれ変わった。これとは別にバオダイは家族の為にも別荘を建てた。現在も内部はそのまま保存されており観光スポットとして訪れる人も多い。

総勢17名のうち初めての人は12名であるので町の紹介のを兼ねて観光にも力点を置いた。この時期当地は乾季で気温も朝夕は15°C前後で1枚羽織るものが必要だが、日中は暖かく20°Cと過ごしやすく最高でも23°C~25°Cにしかならない。滞在中雨は1日だけパラットきた程度で傘は不要であった。

期間は2016年1月20日~30日(9泊11日)

### 1. 航空便(ベトナム航空)

(往路) 成田発9:30→14:40 ホーチミン着(乗り換え) ホーチミン発17:40→18:30 ダラット着

(復路) ダラット発19:10→19:55 ホーチミン着(乗り換え) ホーチミン発00:30→成田着

往路はホーチミンで税関を済ませた後荷物を受け取り、国内線の隣のビルまで運ぶ必要がありやや不便だった。(復路は此の逆)

航空運賃は58,690円(空港利用料、サーチャージ込み)

ダラット空港からホテルへは往復とも専用大型バスを予約した。

### 2. 貨幣(単位が大きく間違いややすい)

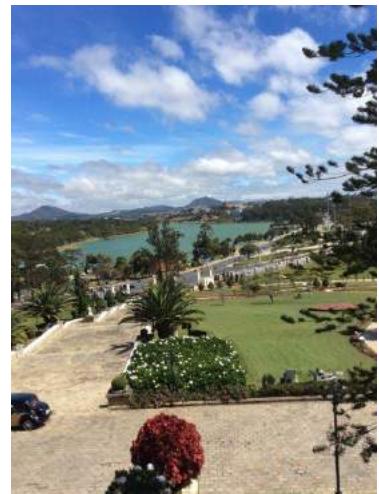
1ドン=0.0051円であり、以下100ドン=0.51円 チドン=5.1円 1万ドン=51円 10万ドン=510円 100万ドン=5,100円ということになる。

紙幣は100ドン、200ドン、500ドン、1,000ドン、5,000ドン、10,000ドン、50,000ドン、100,000ドン、200,000ドン、500,000ドンで数字の表示しかない。各紙幣とも色こそ違え大きさにさほど違はないので判別しにくい。その他コインもあるが使う機会は少ない。支払毎にゼロを確認しながら支払った。

ゼロの数を数え間違って10倍の料金を支払った人あったが、受け取った人は気前の好いチップとして受け取ったと善意に考えたい。

### 3. ホテル(ゴックラン Ngoc Lan 4星)

前回と同じゴックランホテルに宿泊した。



スファンフーン湖の眺め



宿泊したゴックランホテル  
の庭園にて



スアンフーン湖を見下ろす丘の上に建つておりビューレイクの部屋からの眺め素晴らしい。客室はフローリングを使った床、白木の窓枠はヴェラを感じさせる。ロングステイに必要な衣類等の収納庫が少ないのでトランクをそのまま衣類庫として使わざるをえなかった。市街の中部に位置し近くに市場があり雑貨や果物、食品が豊富に並べられている。近くのパン屋のフランスパンも美味しい。レストランも歩いていける距離に多く点在している。ホテルの部屋は7種類あり全部で91室。

料金はビューレイク、ツイン、朝食付でツイン1部屋約1万円の部屋に泊まった。歩いていける距離に **ダラット大教会** (1931年から12年間かけて建てられた。内部のステンドグラスは美しい)、**ダラット・パレスホテル** (バオダイの別荘を改装したホテル、備品等当時のまま置かれている) の見学並びにスアンフーン湖周辺の散策も気持ちが良い。

#### 4. レストラン

幹事の鈴木幹男さん作成の「ダラット・レストラン1覧表」(50店舗を記載)を中心に毎晩のレストランを選んだ。17名が一堂に会する大きなレストランは少なく、また独特的の香草を好まない人もあり選定には苦労した。時には2グループに分かれた。アルコール類は安く、特にダラット赤ワインは人気があり、レストランでボトルをとっても500円程度であった。



Ming Restaurant で乾杯  
右手前から4人目が筆者

() 内はアルコール類を含む1人当たりの概算価格。

\***Ming Restaurant** :かつては個人の別荘であったが、レストランに改装、庭も広く雰囲気も良い料理も美味しい。ホテルからタクシーで10分。(2,000円)

\***Restaurant De Famille Long Hoa** :家庭的な味の中華/ベトナム料理。(1,350円)

\***Ngoc Lan Hotel** :週末のビュッフェスタイルの特別企画を食したが、バラエティに富み美味しかった。(1,050円)

\***Le Café de La Poste** :フランス風のデパートの建物を改装。カントリーフレンチ、オニオンスープ、ステーキを食した、ケーキ類も美味しい。(2,250円)

\***Restaurant Ichi (市)** :日本料理店、メニューは豊富、オーナーは日本人。

店が狭く6~7名程度のグループなら一緒に座れる、予約が必要。(1,100円)

\***DaQuy (Wild Sunflower)** :雰囲気は良い、ベトナム料理、小さなレストランの為6名程度まで、支店もあり最終日には全員が同じテーブルで会食出来た。(600円)

\***Cocolate Café** :色々な料理がたのしめる。(1,100円)

#### 5. タクシー

比較的安く、メーター表示の金額を支払えばよく、明瞭会計なので気軽に使える。万ドン単位なので支払う時間違わないよう注意が必要、桁を間違え10倍払った人もいた。善意に考えるなら彼らはチップをもらつたと思ったのだろう。上記レストランに行くのも100円~200円で十分だ。6人乗りと4人乗りがある。

#### 6. 観光

初めての人も多かったので、前回の観光と重複する場所もあるが、ホテルのコンシェルジェに相談、4時間程度のコースを4日分選んでもらった。専用バスと英語ガイド付きであった。色々と便利なのでホテルに手配を依頼した。英語の通訳をメンバーの中澤泰二さんにお願いしたので説明を理解でき、より充実した観光となった。



### (1月22日)

\***Dalat Railway Station (ダラット駅)**：別荘開発の資材等を運搬必要があり、1933年に建設された鉄道の終着駅。ベトナムで一番美しい駅と言われている。構内には日本製機関車も陳列されている。この駅から観光列車が出ているだけで通常の運航はない。



\***Dreaming Hill (夢の丘)**：広大な丘にとりどりの花が咲いており綺麗だ、日本では別の時期に咲く花も一度に開花している。

\***Valley of Love (恋人の谷)**：花壇と湖の景色が美しい。永遠の愛のモニュメントの下で、多くの人が記念撮影した。



恋人の谷

\***XQ Silk Hand Embroidery (XQ刺繍センター)**：ベトナム伝統刺繍の製作が見学できる。緻密な針運びには驚かされる。絵画かと見紛うばかりの緻密な大小の刺繡作品が所狭しと展示されている。1万円も出せば綺麗な作品が購入できる。両面が同じ刺繡の製作は難しいと言われているが展示されておりスキルは高さがうかがえる。

ダラット駅から観光列車に乗る

### (1月24日)

\***Pren Fall (プレン滝)**：滝の横幅大きい、滝の裏側にも道が作られており、通り抜けながら滝の裏面からも鑑賞できる。滝つぼまでは古いケーブルでも行ける。公園としても整備されており公園内を散策もした。途中には少数民族の模型の家もあり衣裳を着て撮影することができる。

\***Truc Lam Monastery (チックラム禅院)**：1993年に建てられたベトナム最大の禅寺。

\***Bao Dai Summer's Palace (バイダイ夏別荘)**：1938年5年の歳月をかけてバオダイと家族の為に建設された、夏の別荘。外観は簡素である。レセプション室、寝室等が見学できる。

\***Dalat Botanic Park (ダラットバラ園)**：色々なバラが鑑賞できる。

### (1月26日)

\***Elephant Waterfall (象の滝)**：滝の一部は地上からでも見えるが滝つぼに行くまでは下に可成降りなければならない。滝の岩が象の形をしているので象の滝と呼ばれている。



布袋さん

\***Linh An Pagoda (Linh An の塔)**：大きな寺院があり内部まで見学可能である。ニッコリ笑った布袋さんには自然と顔が緩む。

\***Rice wine home made (地酒)**：家内工業規模での蒸留酒工場を見学、原料は米である。アルコール60度を超える強い酒の由。

\***Silkworm facility (絹)**：家内工業規模の工場。蚕を育て、糸を採取し、布を織るまでの一貫工程が見学できる。

\***Van Thanh Flower village (Van Thanh 花農園)**：様々な花をビニールハウスで栽培し出荷する花農園。

\***Coffee plantations (コーヒー農園)**：ベトナムがブラジルに次いで世界第2のコーヒー生産国であることはあまり知られていない。コーヒー農園に隣接したコーヒー工場を見学。有料のコーヒーを試飲、



購入もできる。一番の高級コーヒーは小動物**ジャコウネコ**にコーヒー豆を食べさせ、排泄物から消化されない豆を摘出して精製する。このコーヒー豆は 100gr 当たり 2000 円と 10 倍も高い。**ジャコウネコ**は美味しい豆しか食ないので美味しいコーヒー豆が得られる由。

### (1月27日)

\***Sightseeing train (観光列車)**：ハイシーズンには1日5便、ダラット駅から約7 km の終着駅チャイマットまで当時の客車で運行されている。牽引車は蒸気機関車ではなくジーゼル機関車なのは残念、車窓からは野菜栽培が見られる。車内でコーヒーのサービもある、乗り心地は悪く30分で終点に着く。



クレイジー・ハウス

\***Linh Phuoc Pagoda (Linh Phuoc 塔)**：立派な塔や仏像が見学できる。

\***Bio Flower forest Co (Bio ドライフラワー製造会社)**：日本の技術を導入ドライフラワー製造している。輸出もされている。色鮮やかで沢山のドライフラワーが展示されている。工場内の売店で安価で購入出来る。

\***Crazy House (クレイジー・ハウス)**：ロシア留学から帰国した女性建築家が建てた芸術性の高い家、かなり奇妙な建築も見られるが、観光客には大人気で大勢の観客が訪れていた。

## 7. ゴルフ

最近新しいゴルフ場がオープンした。いずれのゴルフ場もアウト—インをスルーでプレーする。

### \*ダラット・パレスゴルフクラブ

料金は他の物価と比べて高い。プレーフィー（キャディー・カート付）は平日で 14,500 円、金曜日を含むウイークエンドは 15,500 円。カートは2人乗りなので一人だとさらに 2,000 円かかる。グリーンもよく手入れされておりキャディーも良く訓練されている。パレスホテル宿泊者は 2,500 円程度安くなる。今回泊まったホテルからタクシーで 10 分で地理的には良い。

### \*SACOM ゴルフ&リゾート

別荘デベロッパーSACOM の経営、2015 年秋にオープンした。やや山岳コース美味だが気にならない、途中にストリームがありキャディーにその都度確かめる必要がある。ホテルから車で 30~40 分であるが、送迎は無料。プレー費は平日 10,000 円、ワークエンドは 14,000 円と高くなる。カートを1人で使用する場合さらに 2,000 円高くなる。

## 8. むすび

安全に問題はなく、物価も安く、住みやすい。街も綺麗だしホテル住まいになるがロングステイ地として今後も訪問したい。



sacom ゴルフ場にて  
左から3人目と4人目の女性は筆者  
と一緒にプレーをされたお仲間



## 2. 新宮 晋先生 新春特別講演会「自然からのメッセージ」に寄せて

今年の新春特別講演会（1月28日ホテルアイボリー）は、世界を飛翔する“風のアーティスト”新宮 晋先生に「自然からのメッセージ」をテーマにご講演をお引き受け頂きました。

ご感想文は経済学者の神戸大学名誉教授の西澤 信善先生にお願い致しました。

（関西支部長 阿賀 敏雄）

**Seeing is believing. (百聞は一見に如かず)**

（西澤 信善）

阪急・梅田の中華料理店で元ビジネスマンの方々と会食中であった。

携帯電話が鳴った。阿賀さんからであった。「すみませんが、今度の新宮先生のご講演の感想文を書いて頂けないでしょうか」と丁重な依頼であった。

阿賀さんは尊敬すべき高校の大先輩。そんな大先輩に畏れ多くも丁重に頼まれれば断ることはできない。任にはあらずと分かっていたが、「わかりました」とお返事した。

以前、阿賀さんから「文章の達人」などと“褒め上げられた”ことがある。“褒め殺されて”（ご本人の弁）落語家デビューを果たした人もいる。阿賀さんには勝てない。それでもいざ書く段になって、やはり後悔した。実は、芸術はまったくの門外漢。専門は経済学、頭の中は「銭の勘定」で一杯である。文章が出てこないはずだ。

新宮先生の講演の語り口はやさしく、平易で、そしてユーモアにあふれていた。だからといって先生の話がよく分かったと言う訳ではない。

なんとなく先生の輪郭がみえたのは、やはり映像でいくつかの作品を見た時であった。

Seeing is believing. 百聞は一見に如かず、である。

そもそも芸術家を語るのに作品を見ずして語るなどというのはあり得ない事である。

映像に映し出された先生の作品は、

風に吹かれてくるくる回る奇妙なオブジェクトが、自然に、池に、町に、建物に配置されているものであった。へたすれば、一つ間違えば、「これ何?」となりかねない。芸術家はそんなことと戦っているのかと知る。

一瞥であるが、そのオブジェクトが違和感なく、周囲に調和している。それどころか、それがあることによって、自然が、池が、町が、建物が引き立っている。実はこれはすごい事なのではないかと思った。音楽家が演奏を終えたとき、聴衆が思わず「プラボー!」と叫びたくなる感動ではない。新宮先生の作品は、「これ、面白いのと違う」と静かに感性に訴える。

これはおそらく芸術の種類によって脳内のドーパミンの出方が違うのであろう。



新宮 晋 先生



芸術と呼べるものはすべて程度の差はあれ感性に訴えるものである。感性が低くても作品が優れていれば何かを感じることができる。新宮先生の作品がそれだ。

世にすばらしい芸術は数えきれないくらいある。感性はどうであれ、私も時々芸術に触れてみる。実際、音楽を聞くのは好きである。レハールのメリーウィドウは大のお気に入りである。

絵も少しばらじる。ルノアールに平和を感じる。漢詩もよむ。数十首はそらんじている。「千里鶯鳴いて緑くれないに映す」(杜牧)、たった七文字で別世界に引きずりこまれる。

悲しいかな、私は何の芸術的な才能に恵まれていない。ただ、人の生み出した芸術を楽しむことはできる。実はそれだけで、千金の君、万乗の君より幸せである。

## 世界を飛躍する“風のアーティスト” 新宮 晋 講演会

テーマ：「自然からのメッセージ」  
とき：2016年1月28日(木) 14:00~15:30  
ところ：ホテル・アイボリー  
受講整理券(無料)は裏面の3店舗でお求め下さい。



新宮 晋  
1937年大阪生まれ。豊中高校・東京芸術大学絵画科を卒業後、イタリアに留学。6年間の滞在のうちに風で動く作品を作り始める。以来、自然との共生をテーマに、世界各地に風や水で動く彫刻作品を作り続け、現在は兵庫県三田市と、パリを拠点に活躍している。1971年ハーバード大学視覚芸術センター客員芸術家。2000~2001年には地球上の僻地6か所に風の彫刻群を設置し各地の人々と交流を図る「ウインドキャラバン」を開催。「いちご」「くも」「じんべえざめ」「ことり」「旅する蝶」(文化出版局)、「ちいさなふしぎな森」(BL出版)などの絵本作家としても知られている。2014年三田市有馬富士公園内に「新宮晋 風のミュージアム」をオープン。

空の鼓動 (講演テレビ)      風のロンド (新宮晋 風のミュージアム)



森のささやき (千里体育馆)      白い雲 (野辺山图书馆)      はでしない雲 (関西国際空港)

---

NPO 法人 リタイアメント情報センター  
顧問 (中野寛成) 理事長(竹川忠徳) 関西支部長(阿賀敏雄)  
090-1896-4575



### 3. 2015年11月25-26日オムコイバーンクンメートウン小学校

#### Wプロジェクト 図書館・保健室寄贈途中経過視察 (会員 三原 健三)

参加者 : JT/Ash Japan CoCo image Co,Ltd. 三原健三  
フレンド株式会社 Best Asian Friend Co,Ltd. 山口馨右 望月和巳  
JT/Ash Japan Griffin Marine Travel 山口精一 山口えり子 山口英昭  
Green Life Support Co,Ltd 市毛みどり アッサウイ・ヨウット 市毛雄翔  
合計9名



今回の目的は途中経過視察、そのためプロジェクトの役員だけでの訪問でした。

人数は少ないけれども内容の濃い、そしてまた先生方や生徒たちとの深い交流が出来た視察がありました。

今回の視察は昨年2015年1月26日の訪問で子供たちと約束した図書館の建設、それは山の子供達に山だけで終わって欲しくない、もっと頑張れば素晴らしい世界があることを彼らに知って欲しいから、テレビのない世界で知らないことがたくさんあるだろう‥その不思議な世界を教えてあげたいという小さな私たちの願いでもありました。

そして山で病気になってしまってもすぐには医師に見てももらえない‥その為に命の危険にさらされるその環境に少しでも早く処置が出来ることを願う、保健室の施設それは小学校だけではなくその周辺の村の人々も利用出来たら‥危険から少しでも救えたら‥それが私たちの願いです。

約10ヶ月間に渡る寄付活動からJT/ASH Japanに集められた寄付金額は東京はJTASH 日タイセカンドライフ健康サポート協会と 栃木のフレンドが中心になり今まで合計160万円が寄付されました。

人から集められた寄付金およびチェンマイ各団からの寄付金総額  
16,500Bで花火、コムファイ、図鑑、ハープボール、などを購入し寄贈  
その他学校生徒への食事材料費、飲み物、看板、その他食費 合計  
15,127Bは寄付金より歳出。

往復移動ミニバス、ガソリン等交通費その他訪問者の食事、飲み物代など  
総計20,530Bは三原、両山口氏の訪問者4名にて一人5,000B少しを各自で個人負担。

当然のことながら、今回に限らず今まで現地訪問に要する費用はすべて個人負担として訪問者から支払われています。皆さまからのご厚意でいただき





た寄付金はすべて寄贈先への支援物資、建設プロジェクトに歳出しております。

2015 年の 12 月タイでは既に冬のはずなんですが・・チェンマイは比較的暖かくオムコイに行くには丁度良い気候であったかも知れません

11 月 25 日朝は 08 時に集合し荷物をつめて出発です・・何度も往復をしているとはいえどあの道のりはやはり遠く感じます。

今回はバーンクンメートゥン村(小学校のある山のふもとにある病院で先生方のお迎えを待つ間)の病院にピジョンさんからの寄付赤ちゃん用の哺乳瓶の寄付も同時に行いました。そして内田洋行さんから贈られたマスク沢山のマスクも寄付させていただきました。



上の右写真左端は友人の山口君 (JTASH 理事) 右端は長男英明くん (帰国福祉活動報告を学校へ提出することになっているとか)

この病院を見学して思うことは・・ココで人は助からない！人を助けるための設備ではないということを考えると山に住む人々は・・命の危険にさらされながら・・それを諦めざるを終えないのかと・・正直驚いてしまいました。

お医者さんはチェンマイからの出張で決まった曜日に往診に来られます。普段は看護師さんが医者の代役として診てあります。

歯の治療をするための設備ではなく・・治療しないで歯を抜くだけの設備・・そして子供を自然分娩で生める人は問題ないけれど・・その設備では帝王切開は無理で さらに・・二次感染を起こしそうな設備には恐怖を覚えます。

風邪を引いた・・擦り傷の手当て・・など病院としての機能が全然ないことにただただ・・驚かされるばかりで・・どうしたら・・いいのか・・正直途方にくれてしまいました。

もちろん現在のこの病院では手に負えない患者は全てオムコイの町に送るのだそうです。

この山のふもとにある病院がこれですからね・バーンクンメートゥンの小学生達はどうしたら命の危険に去らされないでしょう。

おそらく誰も声にしては言い出しませんでしたが・・この病院の様子では自分達では生きられないと感じていたと思います。



迎えが来ていよいよ山にあがります、乾季とはいえ・・この日までに2-3回雨が降りました・・それで上がれないということはおきないだろうとは思いましたが、緊張します。



り大変みたいです。

もう一台の古いトラックには平均年齢 68 歳の方々乗車です・これは死に物狂いかも知れませんね。笑 途中休憩しながら・・オムコイの自然を満喫・・日が落ちる前の午後 15 時無事生徒達が迎えるバーンクン メートン小学校に到着です。

早々に荷物を降ろし・・生徒達が見守る中財団の幹部達は図書館の建設状況の説明、若手は夕食炊き出し準備に入ります。

山の気温はすぐ様変化するもので・陽がかけるとすぐに寒くなります、前回炊き出しに時間がかかり子供達に食事をさせて上げたのが夜の 20 時を過ぎていましたので何とかそれまでには・と炊き出し部隊の手ははやります。今回はガスの力が大きくなんとか 18 時半には子供達に食事を配ることが出来ました。

校長先生の手配で・・新しく出来た別館に宿泊できるようになりそちらで子供達に食事の準備をしてくれました。下の左写真の右女性が市毛みどりさん 一昨年乳がんの手術を受け戦っていますが支援活動を続けておられます。



今回もフレンズの望月君が料理長として腕を振るってくれました。 これだけのスパゲティーをゆで上げるのに大変な労力がいります。我々が作ったスパゲティーカレーは勿論彼等にとっては生まれて初めて口にする食べ物だが皆美味しそうに喜んで全部平らげてくれました。作った甲斐があるというものです。

望月君は左の写真真ん中の若者です。



我々に作って頂いた夕食は、こんな山奥で食べたムーカタ（タイ式焼肉）は嬉しいと同時に疲れていたので美味しかったですね。



先生方のもてなしに感謝感激でした 夜も 21 時を過ぎると先生方に誘われ‥食事の後の催し物に参加しました。



私達からのサプライズは花火とコムファイ（熱気球）子供たちからは感謝の出迎えバンブーダンスです。

花火も山奥にこだまするほどの爆音とともに明るい光をともし‥奇声と喜びの大合唱であげたコムファイ みんなの願いが届きますように‥興奮やまず‥22 時までオムコイでのロイクラトン祭り 最後は先生方が用意してくれた灯籠を川に流しました‥なかなか町では味わえない催し参加は参加者の方々の心に深く響いたことでしょう。



（上左の若者が市毛さんの長男 雄翔くん  
チェンマイで生まれ育ち、現在は千葉の自動車整備工場にて技術見習い中）

山の深夜は深深と寒くなり、水を触るのも冷たくて厳しい物がありました。

翌朝、早くから校長先生を始め生徒達に起こされ‥朝の食事そばに流れる川の音がなかなか別荘に来たかのごとくです。

朝食も終わり身支度が完了し生徒達がいる校舎に向かいます。

新しい別館からの移動は年寄りには少々困難でしたが‥この山の中によくこれだけの敷地内に学校を建てた物だと校長先生の働きに改めて感動します。

校庭で待っている生徒達を前に理事から応援の言葉が述べられ‥参加者からも声援の言葉が送られます。





今回も企業から各団体から頂きました品物を学校に寄付させて頂きました。  
学校からの感謝状と子供達のまっすぐなきらきらした目と生きる勇気をいただきました。  
この素晴らしい目の輝きに少しでも花をつけられたら・・・図書館建設はその願いだけで参加者の努力で実現します。



さあ・・・2016年3月完成予定です  
次回を楽しみにして・・・年老いた体に鞭打ちましょう・・・また、今回の訪問で保健室建設代金の12万B不足があることがわかりました。皆様からの暖かいご協力をお願い申し上げます。



さあ帰る時間となり生徒たちはみんなで送ってくれました。 子ども達はごく自然と両手を合わせて敬いと感謝の気持ちを表します。



今回校長先生の運転するトラックに乗車し色々な事情を聞きました 生徒達は卒業後どうなるのか・・・校長先生がここに来た頃から一番大きな生徒は現在どうしているのか?など

やはり金銭的な問題や家庭の問題で中学に進学できるのは成績が優秀な子供達だけで・そういう子供達への教育以外の生活援助の資金を里親としてお金を集めたり先生方が個人的にお金を出し合ながに・・上の教育を受けさせていること・・・それはかなり大変だと話しておりましたが・・やはり町の生徒達ほど恵まれていないその環境で本当に伸びるだろうと核心する子供達にだけ手を差し伸べて上げられるだけなので心苦しいことを校長先生は話していました。

また校長先生がこの山に入り 8 年間で現在教育大学まで進んでいる子供がいるそうです。

この子がいすれ・・教師として山に戻れば私達がしてきたことが夢叶うと涙が出そうになりながら話をしてくれました、本当にそうであって欲しいと願うなにものでもありません。

それまではココを捨てることは出来ないんです・・そういう校長先生の頑張りが私達を奮い立たせ寄付活動をここまで進めてこられたんですよ・・と話をすることが出来ました。

また医療に関しては・・やはり・現実として大きな病気はオムコイの町へ運ばない限り治療できることそしてその為には費用がかかりすぎるため・学校で用意する(寄付など)薬に頼らざる得ないという現実があることも心配していました。

学校という存在はその周辺の部落の医療まで面倒を見なければならぬことにも大きな苦労を感じます。

まして衛生的な問題が大きく・・原因がわからない場合それが死に至ることもある・その恐怖を抱えながら毎日の子供達との生活に不安を抱えています、保健室寄贈が・少しでもそれらの力になれば・・そう願い不足している 12 万 B を理事達は頑張り寄付を集めたいと願っています。

皆様にお願い申し上げます・・

暖かい援助支援をお願い申し上げます。

2016 年 1 月 12 日 報告  
NPO JTASH 理事長 三原健三  
グリーンライフサポート株式 市毛みどり



## 4. 株式投資「成功への道」(柏原幾松氏の講演)をお聞きして

2016・2・25 (木津谷 文吾)

お金のためなら人をだます、殺す。 お金は魔物だ。 新聞の社会面に掲載されるこの種の記事は絶えることがない。何故ならばお金がなければ暮らせないからである。だから人は何とかしてお金を儲けようとする。少しでも多くのお金を得たい。そんなうまい方法があれば知りたい。 この度の柏原先生の講演も、そんなうまい方法を教えてもらえることを期待して聴講された方々が多いのではなかろうか。

私は、お金は、世のため人のために手に汗して勤労し尽力した結果の報酬としていただくものであると思っているので、何ら生産やサービスを伴わないマネーゲームの如きから得られるものには抵抗を感じる。しかし、実際、世の中には、貸し借り、損得が複雑に絡み合った金融経済を骨子として成り立っていると言っても過言ではなく、株式投資もその一環なのである。

マネーゲームが好きか嫌いかはさておいて、株式投資に話を移そう。

株式投資は、世の中の動きをにらみ、投資する株式（銘柄）を選んで売り買いに踏切るわけだが、予測はあくまで予測であり的中することはまずない。それは、そこに様々な人たちの思惑が入り、思いもよらない動きをすることが多いからである。

私は、生活費・遊興費・医療費などの必要経費を勘案した残余のお金の、さらにその一部を株式投資に充てているだけなので僅かな株しか持っていないし、それを運用して儲けるという意識もなく、30~40年持ったままで株式配当金をもらうだけになっている。株の買値がいくらだったかさえ記憶にならない状態である。株には余裕金を充てているので、お金が必要にならない限り置いておけばいいと思っているし、必要になったときに株価が安くても高くてもそれは仕方がないと思っている。だから、新聞の株式欄を見ることは殆どない。 私は、こんな「株音痴」であるからこそ、逆に、柏原先生の講演に強い関心を持って拝聴したのであった。「株音痴」のため、間違って理解している点もあるかもしれないが何卒ご容赦願いたい。

柏原先生によれば、株で成功するためには、①余裕のお金で現物を買うこと、②安いときに買い、高いときに売ること、だと言われる。全く同感であるが、①は自分の判断ができるが、②は難しい。

因みに、日経平均株価の動きをウォッチしても、実際、いくらなら安いのか、いくらなら高いのか、の判断が難しい。そのためには、しばらくトレンドを見る必要があり、日経平均株価の3日や5日の動きで”売りか買いか”を決めるができるのかどうか、せめて7~10日必要ではないか？

また、日経平均株価は株式市場のマクロの動きであり、その動きの中で、1500社ほどの上場会社の中から、実際に、どの業界のどこの会社の株（銘柄）を選ぶのかは極めて難しい。すなわち、株式市場のマクロの動きに対して、殆どの株価は鰐の群れのごとく同じ方向に向かうけれども、中には逆方向に向かう株価もあるだろうし、動きの鈍い株価もあるだろう。会社の経営状況を業績からチェックするにしても1500社全部をチェックするのは無理である。然れば、どのようにして会社（銘柄）を選べばよいのか？ これが最も難しいと思う。

それぞれの会社は、それぞれの事情を抱えており、公表された数字だけで判断できない面もある。 例えば、東芝、東電、東洋ゴム、三井住友建設、タカタ・・・などのような、人災、天災による予測不能の突然のダメージもある。こういう例外的なことは別にして、柏原先生は、概ね、成功するであろう（手堅い）方法を述べられたのであり、だから「成功への道」という表現をされ、「必ず儲かる」とは仰っ



ていない。

何もせずに成功はない。やはり、データは必要である。そして、データを読み判断することに興味を持ち、楽しみ、結果に完璧を求める。80%よければ大いに良しとする。あくまで、株式投資はゲームとして余裕金で楽しむことだ。 趣味と実益を兼ねたボケ防止に最適といえよう。

りらいぶ講演会

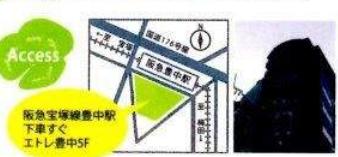
## 「株式投資 成功への道」

講師：柏原幾松氏

日時：2016年2月25日（木）14時～15時30分

会場：エトレ豊中5階「すてっぷホール」 ☎06-6844-9772

前売券：1,000円（当日券1,300円）

講師紹介	Access
1935年 豊中市生まれ 豊中市立熊野田国民学校卒業 豊中市立第三中学校卒業 大阪府立豊中高校卒業 大阪市立大学商学部卒業 1961年 大阪証券取引所（現大阪取引所）入所 1995年 大阪証券取引所退職 株式投資歴 54年余 大阪証券取引所在職中、日本最初の株式先物取引の規則制定を担当	<p>検索 豊中 すてっぷ</p> 
	講演会の前売券は ベルウッド (06-6840-0606) 国際交流の会とよなか (06-6840-1014) にてお求めください

NPO法人 リタイアメント情報センター関西支部

阿賀敏雄 090-1896-4575



## 5. エッセイ・自分たち探し

## 「ほのぼのマイタウンより」

### 多層構造の心情をもつ日本人は世界でも少数派

(フリージャーナリスト 國米 家巳三)

「予想とちがって日本には美人が少ないなあ」「少ないねえ」電車のなかで韓国の若者がふたり。韓国語は車中のだれも分からぬと思っているようで、彼らは声を落とすことなく話しています。しかし、すぐそばに在日韓国人がいて、「あのふたり、日本は絶世の美人ばかりと思ってやってきたんだね」と、こちらは日本語でつぶやき笑っていました。

韓国は名にしおう整形大国。若い女性の多くが整形すみだといわれています。派手に繕った整形女性を大勢並べて遠目で眺めると、みな同じような顔にみえる。そんな女性ばかりを見慣れた目で日本になると、かなり雰囲気がちがいます。まず、日本では整形する女性は少ない。それにもともと容貌が多様で、大和撫子には、昔から蘊、陰影というものがある。現代っ子の明るい人でも、よくよくみると、たいていなにがしかの陰を秘めているものです。

「いま下関にきた。すぐきてよ。今夜、一緒に飲もう」

韓国から来日した男性が、東京の日本の友人にいきなりこんな電話を寄越したりする。韓国には無遠慮も親しさの証明といった考え方があります。また、おかしいときは心から笑う。悲しいときは大声で泣く。腹が立ったら、"火病"といわれるようになりかまわず喚き叫ぶ。喜怒哀楽をストレートに、強烈に表現するのを美德としているのです。その一方で、産経新聞ソウル支局の黒田勝弘記者が「韓国人と前夜はげしい論争をして、翌朝顔を合わすと、こちらはまだ前夜のしこり残っているのにケロッとして爽やかに挨拶してくる」というようなことを書いていましたが、文字通り朝鮮の「朝の鮮やかさ、爽快さ」を尊ぶ気風もあります。要するに韓国人は陰影など無縁、率直明快、単層の心理構造になっている。

これに対して日本人の心情は複層、多層構造。たとえば職場で、自分の家庭内のこととはあまり話さない。長い付き合いで、相手が年齢からいって当然妻帯者だと思っていたら、実は独り者だったなどということがあります。また自分の趣味生活についても、通常、公の場では打ち明けたりしない。アメリカ人でも韓国人でも、自分を知ってもらうため、積極的に私生活を面白おかしく披露する光景をよくみかけます。が、日本人の場合は職場第一、みんなと“和する”ことをすべてに優先させ、私的なことにはあえて触れません。

その趣味生活ですが、これがまた多彩。正月のしめ縄に魅せられて30数年全国を飛び歩く人。電車の吊り革が面白いといって国内ばかりか海外まで調査に出かける人。手袋の、忘れられた片方だけにほれ込んで4千枚収集した人。農村の柿や大根、芋などの天日干し風景がすごいと40年以上も写真を撮り続けた人。水道の蛇口にはまって3千種を分析、解説本を自費出版した人。穴をあけてそこに顔をはめるパネル、あれ「顔ハメ」というのだそうですが、その研究に夢中になった人。SL列車に大勢集まる「撮り鉄」は有名ですが、鉄道ファンの変種も多い。本線から分かれて短区間を走る“盲腸線”に凝ったり、森林鉄道に乗るのを生き甲斐にしたり。駅ソバの食べ歩きや切符、汽車土瓶集めに懸命になる人もいます。ま、多才済々というべきか、奇才、異才の百花繚乱というべきか。職場では平凡人を装いながら水面下では独特の世界をつくっているケースが無数にあるのです。

世界的には単層派の民族が多く、多層は少数。欧米人がよく「中国、韓国までは分かる。が、日本人となるとむずかしい」といいますが、グローバル化がすすみ訪日客がどんどんふえて、むずかしい日本人の本質が、より正確に理解される日がくることを期待しましょう。

こくまい・かきぞう 元産経新聞記者・東久留米市在住



## 6. “りらいぶ” サロンのご案内

( “りらいぶ” 塾 塾長 鈴木 信之)



《りらいぶサロン》のご案内

現役教師の方、これから教師を目指す方へ…

# 日本語教師でトクする話

## 目からウロコの日本語教師活用術

——プレゼンター／ファシリテーター にほんご教育コンサルタント・鈴木信之

年齢、性別、出身校、経歴などを超えて、「日本語教師」という共通テーマのもとに情報交流できる場を作りました。現役日本語教師の方も、養成講座などで勉強中の方も、海外で教えたいたいという方も、ちょっと興味があるという方も、ぜひお気軽に、何度でもご参加ください。

フリートークではプレゼンターへの質問のほか、参加者同士でお互いの経験や進路のこと、教授法、人間関係、その他話し合いたいことなど気軽に情報交換しましょう。

☆☆☆ 2016年5月～7月期の開催 ☆☆☆

5月18日(水)・6月15日(水)・7月20日(水) いずれも17～20時

### ●場所 リタイアメント情報センター事務局

(東京都港区芝大門 1-4-14 芝榮太樓ビル 4F VIP システム内 TEL 03-5733-3531)

\* JR「浜松町」駅(北口)・東京モノレール「浜松町」駅徒歩7分  
都営浅草線・大江戸線「大門」駅(A4番口)徒歩1分

### ●参加費 500円(サロン運営費としてご協力ください)

★★★ 《りらいぶサロン》とは ★★★

自分自身の「生きがい」や「やりがい」を考え始めた方々、あるいは退職・離職などで新たな自分の人生の充実を目指す方々が共に集まり、共に考え、共に刺激しあい、それぞれが新たな行動を開始する——。そんなクリエイティブなきっかけづくりの場を提供します。主に退職前後の方を対象に情報提供を行うNPO法人リタイアメント情報センター(R&I)が運営しています。

### ●お問い合わせ・参加申し込みは…

NPO法人リタイアメント情報センター (R&I)

TEL 03-5733-2311

E-mail [appli@retire-info.org](mailto:appli@retire-info.org) ⇒ 氏名、年齢、住所、電話番号をお知らせください

ホームページからもお申込みいただけます⇒ <http://retire-info.org>

#### ◎《りらいぶサロン》利用者規約

- ・ご利用の際はサロン運営費として毎回一人 500円をご負担ください。
- ・他の利用者の迷惑にならないよう、マナーを守ってご利用ください。
- ・サロン利用時間内に限り、酒類を除き、ペットボトル・缶飲料の持ち込みは可能です。ただし、空きボトルなどは各自お持ち帰りください。食事はご遠慮ください。
- ・許可なくサロン内でのビジネス勧誘、商品販売などの営業活動はご遠慮ください。



## 7. りらいぶ講演会「みんなで考える日本の未来」－介護の視点から－

(会員 伊丹 淳一)

さる3月17日(木) 豊中駅前ステップホールで「りらいぶ講演会」が開催され、介護の視点から日本の未来を考えようと題して、中野寛成さんと岡田昭二さんが講演された。

岡田昭二さんは小生の中学校の同窓生で、自動車部品・用品の開発、販売を本業とされながら、ロボットによる介護用品を開発し製品化に取り組んでおられます。自らの経験から介護の中でも最も厄介な排尿、排便後の「お尻拭き」をロボットにして貰おうという発想から、その開発要旨が紹介された。



当初、水洗浄便座には洗净後、熱風乾燥機が乾燥させてくれるではないかとの思いがあつたが、説明を受けて確かにこの機能を使ったことがない自分に気付かされた。熱風乾燥機能があるとはいえ、結構時間がかかる割には部分的になかなか乾燥しきれず、念のため紙で拭っているうちに使わなくなっていたことに気付いた。更に彼の説明では、痔疾や粘膜に炎症がある人には空気乾燥は適さないらしい。世の中には四肢障害者や肥満などと共に、高齢化が進むに伴い要介護者の増加を余儀なくされているが、その中でも最も他人の手を借りたくないのがこの排便処理であることは想像できる。

商品名は「樂々きれっと」と称し、2007年に第1回試作機を出品して以来改良を重ね、2013年に4号試作機(補高タイプ)を発表する間、おおさか地域創造ファンド事業に採択され、2012年には「大阪ものづくり優良企業2011」を受賞、公益財団法人テクノエイド協会から実用化に向けて、支援のための補助金が支給されるなど、テレビやラジオでも世界に類を見ない介護機器として注目が集まっている。更に完成度を上げて、使いやすく快適な製品が近々発表される予定になっており期待が高まっている。詳しくはネットで「樂々きれっと」をご覧いただき、使う立場でご意見を差し上げて頂きたいと願っています。

因みに発売時期、価格については未定であるが、近々発表したいということでありました。



2007年第1号試作機



2009年第2号試作機



2011年第3号試作機  
(便座昇降タイプ)



2013年第4号試作機  
(補高タイプ)



中野寛成さんは、ご紹介するまでもなく元衆議院議員で衆議院副議長、国家公安委員長を歴任され、当リタイアメント情報センターの顧問でもあります。奥様の介護に専念するため政界引退を発表され、その介護体験と政治家としての経験から、平和とは何か、人の幸せとは何かと一緒に考えてみませんかと参加者に問い合わせられた。



まず、近年では19,418人の死者と2,592人の行方不明者を出した東日本大震災。阪神淡路大震災は約93%が「圧死」であったが、東日本大震災では同93%が「水死」であったことからそれぞれの災害特徴が伺え、今後の防災対策に生かされることを願っている。

そして今なお身内の行方不明者の捜索にあたっている方が沢山おられることに意を配し、死者と行方不明者を合計して論じてはならないと釘を刺されていた。

構造的な問題として、刻々と100億人に近づき増え続ける世界人口の一方で、少子高齢化が進む日本では、財政、経済の課題と共に介護の問題が深刻になってい

ると。そして、要介護者が増える中で介護者不足が表面化しているが、あの大変な重労働でもある介護者の給料が、サラリーマンの平均より月額約10万円低いという実態に疑問を呈されるとともに、政治的判断も踏まえ早期に是正処置を講じる必要性を説いておられた。

更に歴史から学ぶ現在と未来として、マハトマ・ガンジーの予言「資本主義7つの大罪」を紹介され、20世紀末のこの予言が現在の日本に当てはまることが多く、今一度「共生」の大切さを思い起こすべきとの提言をされ、また近年注目を集めたフランスの経済学者、トマ・ピケティの分析の中から、資産運用収益率は労働所得の伸び率よりも必ず大きいことから、運用収益にもっと課税して所得の伸びに回すことで、経済の好循環を生む施策の必要性も説いておられた。

そして、千年紀、百年期の視点から過去を振り返り、共生を念頭に心と徳といった人間力に視点を当てた諸施策が求められており、世界の主要国家の道程を見ても、やはりいつの時代も調整機能が必要であると提言されていた。

しかしながら、一国または国家間だけでは解決できない難問も近年多くなっており、地球環境、温暖化、大災害から国家的経済破綻や民族格差など、国際連合の進化と世界連邦の発想力肝要であり、連携して問題解決に当たることの必要性などを丁寧に解説して頂いた。

最後に「介護に思う」と題して、生命の意味と尊さでは、子供は親を選ぶことが出来ないと同時に、生まれた時から人格を持っており、親といえども子供に身勝手な振る舞いは許されないということ。そして行き着くところは「人間愛」であり、思いやりの大切さを例を挙げて改めて語られた素晴らしい講演でありました。



## 8. 関西支部からのお知らせ

(関西支部長 阿賀 敏雄)

関西支部では、5月以降に以下の行事を予定しております。  
皆様のご参加をお待ち申し上げております。

### ◆新宮 晋「いちごエクスプレス」に行こう

集合日時：5月14日（土） 集合場所：JR三田駅北口改札前 チケット：3000円

### ◆パネルディスカッション「命の大切さを考えよう」

日時：6月11日（土）14時～16時 会場：エトレ豊中5階すてっぷホール チケット：1000円

基調講演：前田妙子さん

パネリスト：前田妙子さん、西澤信善先生（神戸大学名誉教授、東亞大学教授）、他

司会進行：須賀寅充さん（大阪府立豊中高等学校元校長、全国高等学校文化連盟理事）

### ◆りらいふ歌声喫茶

日時：6月24日（金）15時30分～17時 会場：ベルウッド チケット：500円

出演者：荒木あゆみさん、植田元則さん、大澤泰さん、  
比企野芳郎さん、岸本隆司さん、近藤紘一さん

### ◆第15回りらいふ落語会

日時：10月21日（金）14時～16時 会場：ホテル・アイボリー チケット：1000円

出演：桂三若さん 他

＜キョウヨウ・キヨウイク・エイヨウ・ショウショウで健康ライフ＞

関西支部長 阿賀 敏雄 090-1896-4575

## 9. 東京地区・イベントのお知らせ

(事務局)

### ◆第1回りらいふ落語会

上方落語と江戸落語のコラボ！！ 両国に新しい落語旋風が吹く！！

声をあげて笑って、脳の活性化と若返りを！！

日時：6月22日（水）14時～16時 会場：お江戸両国亭 チケット：2000円

出演：桂三若さん、三遊亭楽生さん、三遊亭けん玉

お問い合わせ： 事務局・島村 090-9709-2318

メール：haruo\_shimamura@hotmail.com

発行：特定非営利活動法人 リタイアメント情報センター（R&I）

〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-14 芝栄太樓ビル 4F

VIPシステム内

●TEL 03-5733-2311 FAX 03-5733-3532

●e-Mail: [info@retire.org](mailto:info@retire.org) ホームページ: <http://retire-info.org/>

●リタイアメントジャーナル: <http://retirement.jp/>

(発行責任者) 事務局 島村 晴雄